[illegible]

[illegible] **etc…**[illegible]

[illegible]

[illegible]**10**[illegible]**22**[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 048-862-0355/[illegible]03-3598-0444/[illegible]

＊チラシのダウンロード→こちら

ソリダリティー（連帯）

「夜汽車の中（中略）、真っ暗な窓ガラスにホッペタくっつけてじっと外を見ているとね、遠く灯りがポツンポツン…あー、あんな所にも人が暮らしているか…汽車の汽笛がボーッ、ピーッ（後略）」（寅次郎忘れな草）。

映画、文学、音楽など芸術や文化は、孤独や挫折、苦しさで出口が見えないとき、生きぬく力を支えてくれる。コロナ危機で芸術や文化活動が大打撃を受けているが、ドイツは、芸術や文化は人間の生命維持に必要不可欠であり、新しいものを創造する勇気が危機の克服に役立つとして、フリーランスや芸術家などへの大規模な支援を行った。韓国では、芸術家に対して雇用保険の適用を拡大する法律を制定し12月から施行した。

コロナ下で政権を承継した日本の首相は施政方針で「自助」を強調した。コロナの死者を25人に抑え世界的に高く評価されているニュージーランドのアーダーン首相の市民へのメッセージは「Kindness」（やさしさ）。

自助は国家が言うべき言葉ではない。危機にあってはなおさらだ。芸術や文化は、やさしさを醸成し、心を紡ぎ人間が価値を共有していく社会の基盤だ。社会を持続させる最後のチャンスかもしれない今、他者と協力し合えるという人間の最大の強みを自覚し、その力をより強固にし発揮していくときだと思う。

弁護士 猪 服正

【関連情報】

・第11作 男はつらいよ 寅次郎忘れな草｜松竹映画

・2020年3月30日（月）Newsweekドイツ政府「アーティストは必要不可欠であるだけでなく、生命維持に必要なのだ」大規模支援

・Brut Japan【あの人の人生: ジャシンダ・アーダーンNZ首相】「私たちがニュージーランドで行っていることを、1つのコンセプトに集約するなら、シンプルな言葉になります。『Kindness（やさしさ）』」

・すずき大和 忘れな草の花言葉／悲恋物語を伝える花名は世界一有名な花言葉

大吉をひくことになっている

おみくじはお好きでしょうか?

僕は、毎年の恒例行事として初詣でおみくじを引いています。

そして、もう何年も大吉しか引いていません。あまりにもそれが続くので、もはやひいてもそうだろうなとしか思わず、家族もそれが当然と思っています。

そして、ひいたおみくじをよく見てもらえるとわかるのですが、おみくじには番号がかいてあることが多いです。

僕は、２年連続、同じ神社で、同じ番号の大吉のおみくじ（１番！）を引きました（・・・中身も同じでした。）。

今年は初詣も大変そうですが、なんとか隙を見計らっておみくじをひいてきます。

弁護士竹内和正

【拡散希望】なんでも電話相談会・年末年始、開設！！

【年末年始・開設】「コロナ災害を乗り越えるいのちとくらしを守る なんでも電話相談会

～住まい・生活保護・労働・借金　**etc…**～」のお知らせ

コロナ禍の中、休業、解雇・雇い止め等により、労働者、事業者、学生、業種・職種を問わず、多くの人が、収入減少、失業等に追い込まれています。１２月１９日に実施した第５弾の電話相談会には、ギリギリまで追い込まれた方からの相談が全国から相次ぎました。

特に、年末年始は、仕事、収入が途絶え、役所が閉まり救済の声をあげることが難しい時期です。コロナで家に籠もり孤立しがちです。

そこで、緊急に、年末年始の４日間、なんでも電話相談会を開くことにいたしました。

弁護士、司法書士等がご相談にお受けします。フリーダイヤルなので、全国どこからでも無料でご相談いただけます。

首都圏では、新型コロナ緊急アクション、反貧困ネットワーク、つくろい東京ファンド、ＰＯＳＳＥ等の取組（「年越し大人食堂」など）と連携します。

ひとりでかかえず、どうぞ、ご相談ください。

【日時】　１２月３１日～１月３日毎日**10**時～**19**時

【電話番号】０１２０－１５７－９３０（フリーダイヤル）

上記時間帯、全国どこからでも無料でつながります。

【相談例】

・生活費を支援する制度について知りたい。

・収入が減ったので、来月の家賃が払えそうもない。

・バイトを切られ、学費を払えない。

・今すぐ生活保護を受けられるか。

・住居を喪失した。

・福祉の窓口で追い返された。

・コロナウイルスによる営業不振を理由に雇い止めされた

・休業手当が払われない。新しくできた休業支援金のことが知りたい。

・無理な働き方でコロナに感染

・学費の支払いや奨学金の支払いが困難

・フリーランスや事業者を支援する制度について知りたい。

・住宅ローンなど借金の返済に困っている。

・コロナで生きるのが苦しい。死にたい気持…

・その他、様々な支払いができなくなるので不安である。

【主□催】コロナ災害を乗り越える いのちとくらしを守る なんでも電話相談会実行委員会

（連絡先：弁護士猪股正□048-862-0355/埼玉総合法律事務所、司法書士後閑一博□03-3598-0444/マザーシップ司法書士法人）

＊チラシのダウンロード→□こちら

全国一斉12／19「コロナ災害を乗り越える－いのちとくらしを守る なんでも電話相談会・第５弾」（フリーダイヤル）のお知らせ（拡散のお願い）

「コロナ災害を乗り越える□いのちとくらしを守る なんでも電話相談会

～住まい・生活保護・労働・借金　etc…～」【第５弾】実施のお知らせ

□コロナ禍の中、休業、解雇・雇い止め等により、労働者、事業者、学生、業種・職種を問わず、多くの人が、収入減少、失業等に追い込まれています。未だに特別定額給付金などの政府の支援策が届かない人や、福祉の窓口から追い返される人、政府が新たに創設した休業支援金などの申請の仕方がわからないなど、全国で、多くの人が様々な悩みを抱えています。

[illegible]
[illegible]2[illegible]20[illegible]

[illegible]**10**[illegible]**10**[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]…
[illegible]

[illegible]
[illegible]048-862-0355/[illegible]

[illegible]→[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]

□□□

目は口ほどにはものは言わない?

「目は口ほどにものを言う」といいますが、相談者の方と打合せをする時のマスクはそう上手くはさせてもらえません。
何度か会っている依頼者であれば別ですが、初めての相談者の時は表情が見えず、その人となりが見えません。
自分の抱える悩みを、弁護士とはいえ、全くの他人に話すのですから「口ごもる」こともあるでしょう。
そんな気持ちを推し量れるのも「目」だけではなく「口元」も見えるからだと思います。
１日も早くマスクなしの生活が送れることを祈ります。
もっとも、我が国の新しい首相はマスクをしていてもしなくても「お答えは差し控えます」と何も語ろうとしませんし、あの人の目は淀んでいて何を見ているのか判りませんが。

弁護士 梶山 敏雄

「来年、埼玉弁護士会より『使用貸借の法律と実務』の書籍を発行します」

埼玉弁護士会で、来年、研修会を開催し、そのための書籍の発行をします。
テーマは仮題で「使用貸借の法律と実務」。
耳なれない言葉かもしれませんが、ただで建物などを貸借している場合の話です。
若い人たちと一緒にあーでもないこーでもないなどと議論するのは楽しい時間です。

来年８月発刊。こうご期待!！です。

弁護士 高木 太郎

□□□□□

□□□□